

高知県感染症発生動向調査（週報）

2020年 第37週 （9月7日～9月13日）

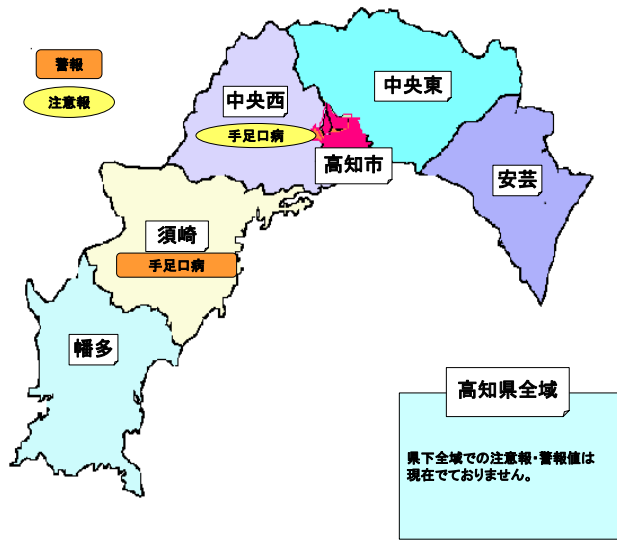
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↓：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
手足口病	→	1.46	須崎で増加し、須崎では警報値を、中央西では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	↓	1.00	幡多、安芸で急減、県全域、中央東で減少していますが、中央西で急増しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	0.50	安芸で急減、幡多で減少していますが、中央西で急増しています。
突発性発疹	↗	0.39	中央東、中央西、幡多で急増、県全域、高知市で増加しています。
咽頭結膜熱	→	0.14	中央東、中央西で急減していますが、幡多で急増、高知市で増加しています。
ヘルパンギーナ	↑	0.14	中央西、須崎で急減していますが、県全域、高知市で急増しています。
流行性耳下腺炎	↑	0.14	県全域、高知市で急増しています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

手洗い：感染症予防の基本は手洗いです

- ・爪は短く切っていますか？
- ・指輪・時計ははずしていますか？

- ① 石けんを泡立て、手のひらをよくこすります
- ② 手の甲、指の間や指先、ツメの間まで丹念にこすります
- ③ 親指をねじり洗いし、手首も忘れずにあらいま
- ④ 石けんを洗い流し、清潔なタオルで拭き取って乾かします
汚れの残りやすいところも丁寧に：指先、指の間、爪の間、親指の居
タオルの共有は避けましょう

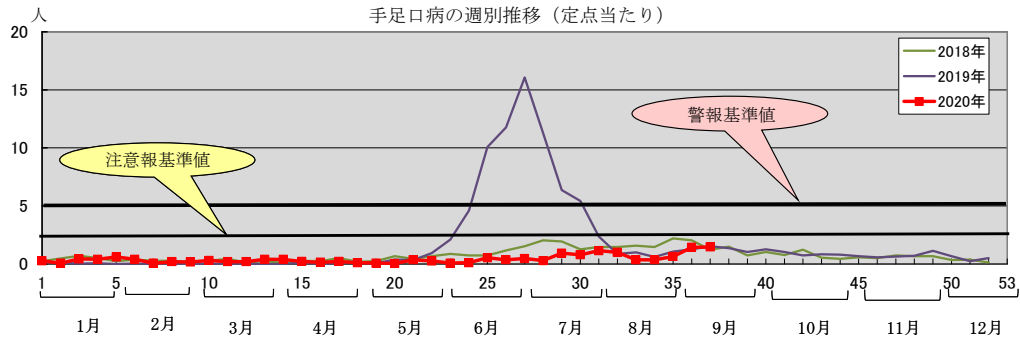


★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○手足口病に気を付けて！

手足口病は、4歳くらいまでの幼児を中心に夏季に流行が見られる疾患です。2歳以下が半数を占めますが、学童でも流行的発生がみられることがあります。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

通常は3～5日の潜伏期をおいて、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。



<予防方法>

- ・手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・タオル・コップ等は別のもので使い、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。
- ・回復後も2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

【学校感染症】

手足口病は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、条件によっては第3種の感染症の「その他の感染症」となります。出席停止期間の基準は「発熱や喉頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、治癒期は全身症状が改善すれば登校可能」ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでない」と規定されています。

ダニの感染症（SFTS・日本紅斑熱）に注意！

「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」や「日本紅斑熱」は、屋外に生息するダニの一種で比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★全数把握感染症

	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
5類	梅 毒	1	15	40歳代 男	高知市
		1		50歳代 男	

★定点医療機関からのホット情報

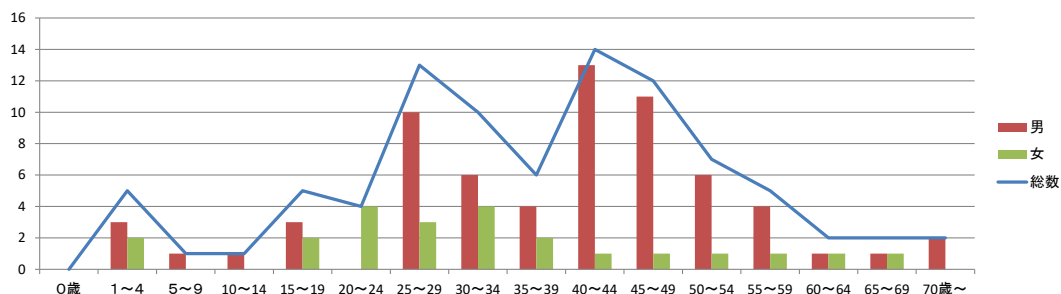
保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1例 (3歳女)
中央東	早明浦病院小児科	アデノウイルス胃腸炎 1例
	JA 高知病院小児科	サルモネラ腸炎 1例 (5歳男)
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス咽頭炎 2例 (0歳、1歳)
	福井小児科・内科・循環器科	手足口病 4例 水痘 1例 (10歳女：ワクチン 2回接種済み)
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎 1例 (1歳男：仁淀川町) 手足口病 2例 (2歳男：須崎市、2歳女：須崎市)
須 崎	もりはた小児科	手足口病 22例 (幼児中心に増加) ノロウイルス胃腸炎 1例 (2歳女) 単純疱疹 1例 (10歳男) マイコプラズマ肺炎 1例 (3歳女)

★県外で注目すべき感染症

○風しん、先天性風しん症候群を予防しましょう

2020年第1週～第36週の累積報告数は89人(男性66人、女性23人)となっており、そのうち87%(77人)が成人で、25歳から50歳代の男性が中心となっています。

2020年累積風しん報告数(年齢別・性別)



妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんの予防にはワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。

赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種を受けることをご検討ください。

【無料の風しんの抗体検査について】

現在県内では2つの事業で「風しん」に対して十分な免疫があるかどうか確認するため無料の抗体検査を実施しています。

- 対象者**・高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性
- ・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）
 - ・風しんの追加的対策として、1972年（昭和47）年4月2日から1979年（昭和54）年4月1日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布
- 1962（昭和37）年4月2日から1972（昭和47）年4月1日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）

検査結果：検査後1～2週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします

- 厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index_00001.html
- 無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/2020051200219.html>
- 風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け） <https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>
- 風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>
- 風しんについて（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/

★高知県の新型コロナウイルス感染症情報

高知県庁ホームページ：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVID-19.html>

高知県の保健所別新型コロナウイルス感染症報告数

		安芸	中央東	高知市					中央西	須崎			幡多	総計
8月	17	月		103										1
	18	火												
	19	水		104	105									2
	20	木												
	21	金			106									1
	22	土			107									1
	23	日			108	109								2
	24	月												
	25	火												
	26	水			113	114	115	116	117	118	110	111	112	9
	27	木												
	28	金			119									1
	29	土			120	121	122	123	124					5
	30	日			125									1
31	月													
9月	1	火		126	128				127					3
	2	水			129									1
	3	木			130									1
	4	金												
	5	土			131									1
	6	日			132									1
	7	月												
	8	火			133	134								2
	9	水												
	10	木												
	11	金			135	136	137							3
	12	土												
	13	日												
総計		2	9	94					8	3			21	137

数字は症例番号 女性は斜体
総計は2月28日以降の感染者

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2020年9月14日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(57定点医療機関)

定点名	保健所 疾病名	第37週 令和2年9月7日(月)～令和2年9月13日(日)							高知県衛生環境研究所			
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(36週)	高知県(37週末累計) R1/12/30～R2/9/13	全国(36週末累計) R1/12/30～R2/9/6
ウイルス科	インフルエンザ							()	()	3 ()	7,096 (147.83)	562,901 (114.18)
小児科	咽頭結核膜炎			3			1	4 (0.14)	4 (0.14)	552 (0.17)	241 (8.03)	24,405 (7.75)
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		1	11	1		1	14 (0.50)	15 (0.54)	1,833 (0.58)	1,357 (45.23)	163,070 (51.75)
	感染性胃腸炎		7	9	7	2	3	28 (1.00)	37 (1.32)	6,148 (1.94)	2,035 (67.83)	309,530 (98.23)
	水痘		1	1		1		3 (0.11)	5 (0.18)	302 (0.10)	178 (5.93)	22,961 (7.29)
	手足口病			12	7	22		41 (1.46)	40 (1.43)	485 (0.15)	471 (15.70)	12,345 (3.92)
	伝染性紅斑			1			1	2 (0.07)	2 (0.07)	32 (0.01)	236 (7.87)	17,584 (5.58)
	突発性発疹		3	5	1	1	1	11 (0.39)	6 (0.21)	1,611 (0.51)	376 (12.53)	43,803 (13.90)
	ヘルパンギーナ			4				4 (0.14)	2 (0.07)	1,289 (0.41)	63 (2.10)	15,306 (4.86)
	流行性耳下腺炎			3		1		4 (0.14)	1 (0.04)	170 (0.05)	85 (2.83)	5,597 (1.78)
	RSウイルス感染症							()	1 (0.04)	177 (0.06)	175 (5.83)	12,878 (4.09)
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	3 ()	()	143 (0.21)
	流行性角結膜炎							()	()	178 (0.26)	13 (4.33)	6,533 (9.43)
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	10 (0.02)	2 (0.25)	295 (0.62)
	無菌性髄膜炎							()	()	11 (0.02)	1 (0.13)	321 (0.67)
	マイコプラズマ肺炎		1	1				2 (0.25)	3 (0.38)	33 (0.07)	86 (10.75)	3,078 (6.45)
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)							()	()	1 ()	()	53 (0.11)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	1 ()	7 (0.88)	221 (0.46)
計 (小児科定点当たり人数)		13 (1.71)	50 (5.43)	16 (5.32)	27 (13.50)	7 (1.40)	113 (3.95)			12,839	12,422 (321.71)	1,201,024
前週 (小児科定点当たり人数)		8 (4.00)	17 (2.43)	46 (4.77)	10 (3.32)	23 (11.50)	12 (2.40)		116 (4.04)			

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(57定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	保健所 疾病名	第37週							前週	全国(36週)	高知県(37週末累計) R1/12/30～R2/9/13	全国(36週末累計) R1/12/30～R2/9/6
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計				
ウイルス科	インフルエンザ									147.83	114.18	
小児科	咽頭結核膜炎			0.33			0.20	0.14	0.14	0.17	8.03	7.75
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		0.14	1.22	0.33		0.20	0.50	0.54	0.58	45.23	51.75
	感染性胃腸炎		1.00	1.00	2.33	1.00	0.60	1.00	1.32	1.94	67.83	98.23
	水痘		0.14	0.11		0.50		0.11	0.18	0.10	5.93	7.29
	手足口病			1.33	2.33	11.00		1.46	1.43	0.15	15.70	3.92
	伝染性紅斑			0.11			0.20	0.07	0.07	0.01	7.87	5.58
	突発性発疹		0.43	0.56	0.33	0.50	0.20	0.39	0.21	0.51	12.53	13.90
	ヘルパンギーナ			0.44				0.14	0.07	0.41	2.10	4.86
	流行性耳下腺炎			0.33		0.50		0.14	0.04	0.05	2.83	1.78
	RSウイルス感染症								0.04	0.06	5.83	4.09
眼科	急性出血性結膜炎										0.21	
	流行性角結膜炎									0.26	4.33	9.43
基幹	細菌性髄膜炎									0.02	0.25	0.62
	無菌性髄膜炎									0.02	0.13	0.67
	マイコプラズマ肺炎		1.00	0.20				0.25	0.38	0.07	10.75	6.45
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)											0.11
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)										0.88	0.46
計 (小児科定点当たり人数)		1.71	5.43	5.32	13.50	1.40	3.95			321.71		
前週 (小児科定点当たり人数)		4.00	2.43	4.77	3.32	11.50	2.40		4.04			

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2020年 第37週)

